



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年2月23日

上場会社名 **第一交通産業株式会社**

(コード番号：9035 福岡証券取引所)

(URL <http://www.daiichi-koutsu.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 田中 亮一郎

TEL : (093) 511-8840

責任者役職・氏名 取締役経理部長 垂水 繁幸

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 (添付資料3(要約)四半期連結損益計算書をご参照下さい)
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 ・連結(新規)1社(除外)1社 ・持分法(新規)-社(除外)-社

2. 平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日~平成17年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨表示)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期(当期)純利益 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 百万円 % | 百万円 % | 百万円 % | 百万円 % |
| 18年3月期第3四半期 | 57,889 (7.9) | 5,390 (17.1) | 4,986 (19.8) | 2,835 (55.6) |
| 17年3月期第3四半期 | 53,639 (5.2) | 4,603 (54.6) | 4,161 (67.4) | 1,821 (-) |
| (参考)17年3月期 | 73,340 | 5,204 | 4,666 | 1,720 |

| | 1株当たり四半期 (当期)純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 |
|-------------|---------------------|--------------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 18年3月期第3四半期 | 145 13 | 144 38 |
| 17年3月期第3四半期 | 93 26 | 93 22 |
| (参考)17年3月期 | 83 41 | 83 37 |

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

3ページ「(添付書類)1. 経営成績及び財政状態 (1)経営成績」をご参照下さい。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

| | 総資産 | 株主資本 | 株主資本比率 | 1株当たり株主資本 |
|-------------|---------|--------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 18年3月期第3四半期 | 127,398 | 13,309 | 10.4 | 681 30 |
| 17年3月期第3四半期 | 118,554 | 14,471 | 12.2 | 740 81 |
| (参考)17年3月期 | 114,037 | 10,342 | 9.1 | 524 76 |

【連結キャッシュ・フローの状況】

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|-------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 18年3月期第3四半期 | 1,596 | 367 | 1,185 | 14,823 |
| 17年3月期第3四半期 | 4,643 | 3,962 | 1,725 | 14,775 |
| (参考)17年3月期 | 6,792 | 5,890 | 1,595 | 11,676 |

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

4 ページ「(添付書類) 1 . 経営成績及び財政状態 (2)財政状態」をご参照下さい。

3 . 平成 1 8 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

第 3 四半期の業績は予定通り推移しており、平成 17 年 11 月 22 日に公表しました業績予想に変更はありません。

| | 予想売上高 | 予想経常利益 | 予想当期純利益 | 1 株当たり予想当期純利益 |
|-----|--------|--------|---------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 通 期 | 75,500 | 5,200 | 1,870 | 95.72 |

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、為替変動等の潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が記載の見通しとは異なる可能性があります。

添付資料

- 1 . 経営成績及び財政状態
- 2 . (要約) 四半期連結貸借対照表
- 3 . (要約) 四半期連結損益計算書
- 4 . 四半期連結剰余金計算書
- 5 . 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- 6 . セグメント情報
- 7 . 営業の状況

1. 経営成績及び財政状態

(1) 経営成績

当第3四半期におけるわが国経済は、原油価格の高止まりなどの影響があったものの、好調な企業収益や民間設備投資の伸長、雇用・所得環境の改善による個人消費の改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のなか、当第3四半期の当社グループの業績は、売上高は前年同期比7.9%増加の57,889百万円、経常利益は同19.8%増加の4,986百万円、四半期純利益は同55.6%増加の2,835百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

タクシー事業

タクシー業界におきましては、官公庁・法人の経費節減、自家用車の増加等による需要の減少、規制緩和の下での新規参入、増車、料金の多様化等による競争激化に加え、介護・福祉分野において、地方自治体からの福祉輸送特区やセダン特区の申請及び認定が増加しており、福祉有償運送の台頭が新たな減収要因となっております。

当社グループにおきましては、各子会社における地域密着の営業戦略、小回りの利いたサービスの実施、意思決定の迅速化と責任の明確化を図るとともに、夜間パトロール指導によるモラル向上と事故撲滅に注力いたしました。

また、当第3四半期においても需要の多い大都市圏での増車を中心とする効率的配置により73台増加し、平成17年12月31日現在のタクシー認可台数は6,182台（前第3四半期末比108台増）となりました。

併せて、当第3四半期において以下のイベントを実施し、個人利用者の利用促進、同業他社との差別化を図ってまいりました。

- ・「和歌山エリア4周年記念謝恩キャンペーン（スタンプラリー）」（和歌山県）
- ・「四国リーグ感謝キャンペーン（スタンプラリー）」（徳島市及び松山市）
- ・「復活!!ピンゴ大会（ピンゴゲーム）」（仙台市及び近郊）
- ・「夢をのせて!45周年キャンペーン（スタンプラリー）」（全国8エリア）
- ・「年末年始の大感謝祭（ピンゴゲーム）」（北九州市）

以上の結果、タクシー事業の売上高は前年同期比2.3%増加の34,764百万円となりました。

不動産事業

(分譲事業部門)

マンション事業においては、地域の特異性を考慮した好立地・好条件の分譲物件の供給に注力し、鹿児島市内における高級大型物件、千葉県内における大型共同事業などを新規に販売開始しました。

戸建事業では、販売委託会社との提携等により既存物件の販売強化を図るとともに、首都圏での新ブランド「クラセリオ」の発売に向けて企画開発に取り組みました。

分譲事業部門の売上高は、東京都区内、福岡市内及び北九州市内等の物件の竣工引渡しと販売用土地の一括売却を中心に、前年同期比13.6%増加の10,801百万円となりました。

(賃貸事業部門)

前連結会計年度下期に買収した札幌市の飲食ビルの寄与と入居率の改善に取り組んだ結果、賃貸事業部門の売上高は前年同期比2.0%増加の2,118百万円となりました。

以上の結果、不動産事業の売上高はその他の198百万円を含めまして前年同期比12.2%増加の13,118百万円となりました。

自動車関連事業

自動車関連事業においては、外車販売において訪問営業や顧客管理の徹底など代替の推進を図るとともに、BMW車における主力車種のフルモデルチェンジやニューモデルの投入も奏効し、売上高は前年同期比15.2%増加の3,601百万円となりました。

金融事業

金融事業では、ビジネスローン部門において中小企業の資金需要の盛り上がりには欠けるとともに、金融機関からの参入などによる競争激化により苦戦しましたが、不動産担保ローン部門において不動産流動化に伴うSPC（特別目的会社）などへの積極的な融資が順調に推移しました。併せて、消費者金融事業を営む日新信販(株)を連結の範囲に含めたことも寄与し、当第3四半期末の融資残高は、前連結会計年度末比7,626百万円増加の20,221百万円、売上高は、前年同期比50.2%増加の2,309百万円となりました。

その他事業

那覇バス(株)において、利用者の利便性を考慮した設備更新や環境に配慮した車両代替の実施、那覇空港ターミナルにおける案内所新設とキャンペーン実施による定期観光バスのPRに注力いたしました。また、沖縄総合事務局との環境負荷の軽減、公共交通利用の喚起を目的とした実証実験「ECOマール・いちゃりバス」の運行に協力してまいりました。

また、通信販売事業においては、取扱商品数を200品目に増やすとともに、カタログ「逸品倶楽部」を当社グループのタクシー車内で頒布するなど、広告宣伝及び販売促進に努めております。

以上の結果、平成16年7月18日に営業譲受した那覇バス(株)の通年寄与があり、その他事業の売上高は前年同期比23.4%増加の4,094百万円となりました。

(2) 財政状態

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益が4,459百万円と前年同期に比べ588百万円の増益となり、たな卸資産の増加による支出、営業債権の増加による支出、有形・無形固定資産の取得による支出があったものの、有形・無形固定資産の売却による収入、短期借入金の純増による収入により、前連結会計年度末に比べ3,146百万円増加し、当第3四半期末には14,823百万円となっております。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、当第3四半期は1,596百万円(前年同期は4,643百万円)となりました。これは、主に、税金等調整前四半期純利益4,459百万円(同3,871百万円)のほか、タクシー車両の減価償却、M&Aによる営業権及び連結調整勘定の償却を中心とする償却費用2,197百万円(同2,171百万円)、法人税等の支払額2,963百万円(同724百万円)、たな卸資産の増加による支出2,204百万円(同865百万円)、営業債権の増加による支出1,053百万円(同448百万円)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、当第3四半期は367百万円(前年同期は3,962百万円の減少)となりました。これは、主に、営業車両の取得を中心とした有形・無形固定資産の取得による支出1,459百万円(同3,851百万円)があったものの、賃貸物件の売却を中心に有形・無形固定資産の売却による収入1,691百万円(同255百万円)があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、当第3四半期は1,185百万円(前年同期は1,725百万円)となりました。これは、主に長期借入の実行による収入14,374百万円(同9,890百万円)、長期借入金の約定弁済による支出13,808百万円(同11,621百万円)及び短期借入金の純増による収入922百万円(同3,713百万円)によるものであります。

2.(要約)四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨)

| 科 目 | 当四半期 (平成18年3月期 第3四半期末) | 前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末) | 増 減 | | (参考) 平成17年3月期 |
|--------------|------------------------------|--------------------------------|-------|-------|------------------|
| | 金 額 | 金 額 | 金 額 | 増減率 | 金 額 |
| (資産の部) | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 |
| 流動資産 | 60,389 | 50,751 | 9,638 | 19.0 | 47,406 |
| 現金及び預金 | 16,138 | 16,106 | 32 | 0.2 | 13,006 |
| 受取手形及び営業未収金 | 22,115 | 14,042 | 8,072 | 57.5 | 14,571 |
| たな卸資産 | 19,534 | 18,682 | 852 | 4.6 | 17,573 |
| その他 | 3,193 | 2,323 | 870 | 37.5 | 2,669 |
| 貸倒引当金 | 591 | 402 | 189 | 47.1 | 413 |
| 固定資産 | 67,008 | 67,802 | 794 | 1.2 | 66,631 |
| 有形固定資産 | 54,705 | 55,341 | 635 | 1.2 | 56,420 |
| 建物及び構築物 | 16,968 | 16,510 | 457 | 2.8 | 17,306 |
| 土地 | 34,628 | 35,513 | 884 | 2.5 | 35,854 |
| その他 | 3,108 | 3,317 | 208 | 6.3 | 3,259 |
| 無形固定資産 | 1,757 | 708 | 1,048 | 147.8 | 590 |
| 投資その他の資産 | 10,546 | 11,752 | 1,206 | 10.3 | 9,620 |
| 投資有価証券 | 3,575 | 2,647 | 928 | 35.1 | 2,868 |
| 長期貸付金 | 1,837 | 1,568 | 269 | 17.2 | 1,517 |
| 再評価に係る繰延税金資産 | 71 | 2,087 | 2,015 | 96.6 | 79 |
| その他 | 6,257 | 6,563 | 305 | 4.7 | 6,236 |
| 貸倒引当金 | 1,196 | 1,113 | 82 | 7.4 | 1,080 |
| 資 産 合 計 | 127,398 | 118,554 | 8,843 | 7.5 | 114,037 |

(百万円未満切捨)

| 科 目 | 当四半期 (平成18年3月期 第3四半期末) | 前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末) | 増 減 | | (参考) 平成17年3月期 |
|-----------------|------------------------------|--------------------------------|-------|---------|------------------|
| | 金 額 | 金 額 | 金 額 | 増減率 | 金 額 |
| (負債の部) | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 |
| 流動負債 | 46,010 | 45,789 | 220 | 0.5 | 45,027 |
| 支払手形及び営業未払金 | 7,575 | 6,828 | 747 | 10.9 | 7,143 |
| 短期借入金 | 31,884 | 32,874 | 990 | 3.0 | 31,308 |
| 賞与引当金 | 188 | 165 | 22 | 13.8 | 503 |
| その他 | 6,361 | 5,920 | 441 | 7.5 | 6,071 |
| 固定負債 | 66,973 | 57,319 | 9,654 | 16.8 | 57,659 |
| 長期借入金 | 53,320 | 45,908 | 7,412 | 16.2 | 44,151 |
| 退職給付引当金 | 6,518 | 6,299 | 219 | 3.5 | 6,327 |
| 役員退職慰労引当金 | 1,176 | 1,087 | 89 | 8.2 | 1,107 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 2,092 | - | 2,092 | 100.0 | 2,154 |
| その他 | 3,865 | 4,024 | 158 | 4.0 | 3,919 |
| 負債合計 | 112,983 | 103,108 | 9,875 | 9.6 | 102,687 |
| (少数株主持分) | | | | | |
| 少数株主持分 | 1,105 | 975 | 130 | 13.4 | 1,007 |
| (資本の部) | | | | | |
| 資本金 | 2,020 | 2,020 | - | - | 2,020 |
| 資本剰余金 | 2,207 | 2,207 | - | - | 2,207 |
| 利益剰余金 | 14,727 | 13,312 | 1,415 | 10.6 | 13,211 |
| 土地再評価差額金 | 6,228 | 3,041 | 3,186 | 104.8 | 7,203 |
| その他有価証券評価差額金 | 649 | 40 | 608 | 1,489.8 | 174 |
| 自己株式 | 67 | 68 | 1 | 1.6 | 67 |
| 資本合計 | 13,309 | 14,471 | 1,161 | 8.0 | 10,342 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 127,398 | 118,554 | 8,843 | 7.5 | 114,037 |

3.(要約)四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨)

| 科 目 | 当四半期 (平成18年3月期 第3四半期) | 前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期) | 増 減 | | (参考) 平成17年3月期 |
|----------------------|-----------------------------|-------------------------------|-------|-------|------------------|
| | 金 額 | 金 額 | 金 額 | 増減率 | 金 額 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 |
| 売 上 高 | 57,889 | 53,639 | 4,249 | 7.9 | 73,340 |
| 売 上 原 価 | 45,574 | 42,798 | 2,776 | 6.5 | 59,663 |
| 売 上 総 利 益 | 12,314 | 10,841 | 1,473 | 13.6 | 13,677 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,924 | 6,237 | 686 | 11.0 | 8,472 |
| 営 業 利 益 | 5,390 | 4,603 | 786 | 17.1 | 5,204 |
| 営 業 外 収 益 | 787 | 684 | 103 | 15.1 | 988 |
| 営 業 外 費 用 | 1,191 | 1,126 | 64 | 5.8 | 1,527 |
| 経 常 利 益 | 4,986 | 4,161 | 824 | 19.8 | 4,666 |
| 特 別 利 益 | 197 | - | 197 | - | - |
| 固定資産売却益 | 197 | - | 197 | - | - |
| 特 別 損 失 | 724 | 290 | 433 | 149.3 | 376 |
| 固定資産除売却損 | 243 | 188 | 54 | 28.9 | 269 |
| 投資有価証券評価損 | 6 | 23 | 17 | 72.4 | 11 |
| 貸倒引当金繰入額 | 133 | - | 133 | - | - |
| 減 損 損 失 | 320 | - | 320 | - | - |
| リース解約損失 | - | 70 | 70 | 100.0 | 84 |
| そ の 他 | 20 | 7 | 12 | 174.4 | 11 |
| 税金等調整前四半期 (当期)純利益 | 4,459 | 3,871 | 588 | 15.2 | 4,289 |
| 法人税、住民税 及び事業税 | 1,828 | 1,520 | 307 | 20.2 | 2,251 |
| 法人税等調整額 | 305 | 430 | 736 | 171.0 | 187 |
| 計 | 1,522 | 1,951 | 429 | 22.0 | 2,439 |
| 少数株主利益 | 102 | 98 | 4 | 4.3 | 129 |
| 四半期(当期)純利益 | 2,835 | 1,821 | 1,013 | 55.6 | 1,720 |
| | | | | | |

(最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更内容)

金融事業における償却債権取立益について、従来、営業外収益として計上しておりましたが、当連結会計年度から売上高に含めて計上する方法に変更いたしました。この変更により、従来の方法に比べて売上高が18百万円増加しております。

4. 四半期連結剰余金計算書

(百万円未満切捨)

| 科 目 | 当四半期 (平成18年3月期 第3四半期) | 前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期) | (参考) 平成17年3月期 |
|--------------------|-----------------------------|-------------------------------|------------------|
| | 金 額 | 金 額 | 金 額 |
| (資本剰余金の部) | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 資本剰余金期首残高 | | | |
| 資本準備金期首残高 | 2,207 | 2,207 | 2,207 |
| 資本剰余金四半期末残高 | 2,207 | 2,207 | 2,207 |
| (利益剰余金の部) | | | |
| 利益剰余金期首残高 | 13,211 | 11,827 | 11,827 |
| 利益剰余金増加高 | 2,879 | 1,830 | 1,729 |
| 連結子会社増加に伴う利益剰余金増加高 | - | 8 | 8 |
| 連結子会社減少に伴う利益剰余金増加高 | 44 | - | - |
| 四半期(当期)純利益 | 2,835 | 1,821 | 1,720 |
| 利益剰余金減少高 | 1,362 | 344 | 345 |
| 配 当 金 | 293 | 244 | 244 |
| 役 員 賞 与 | 91 | 90 | 90 |
| 土地再評価差額金取崩高 | 978 | 9 | 9 |
| 自己株式処分差損 | - | - | 0 |
| 利益剰余金四半期末残高 | 14,727 | 13,312 | 13,211 |

5. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)

| 科 目 | 当四半期 (平成18年3月期 第3四半期) | 前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期) | (参考) 平成17年3月期 |
|---------------------|-----------------------------|-------------------------------|------------------|
| | 金 額 | 金 額 | 金 額 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 税金等調整前四半期(当期)純利益 | 4,459 | 3,871 | 4,289 |
| 減価償却費 | 1,977 | 1,839 | 2,613 |
| 営業権償却 | 195 | 99 | 133 |
| 連結調整勘定償却 | 24 | 232 | 310 |
| 減損損失 | 320 | - | - |
| 販売用不動産評価損 | 110 | 19 | 905 |
| 貸倒引当金の増減額(減少:) | 293 | 82 | 79 |
| 退職給付引当金の増減額(減少:) | 109 | 100 | 129 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(減少:) | 69 | 43 | 63 |
| 受取利息及び受取配当金 | 63 | 54 | 60 |
| 支払利息 | 891 | 940 | 1,263 |
| 固定資産除売却損益(益:) | 45 | 188 | 269 |
| 営業債権の増減額(増加:) | 1,053 | 448 | 942 |
| たな卸資産の増減額(増加:) | 2,204 | 865 | 814 |
| 仕入債務の増減額(減少:) | 77 | 6 | 409 |
| その他の資産及び負債の増減額 | 765 | 116 | 14 |
| 役員賞与の支払額 | 91 | 91 | 91 |
| その他 | 368 | 151 | 164 |
| 小 計 | 5,403 | 6,233 | 8,737 |
| 利息及び配当金の受取額 | 63 | 54 | 60 |
| 利息の支払額 | 906 | 919 | 1,270 |
| 法人税等の支払額 | 2,963 | 724 | 735 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,596 | 4,643 | 6,792 |

(百万円未満切捨)

| 科 目 | 当四半期 (平成18年3月期 第3四半期) | 前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期) | (参考) 平成17年3月期 |
|--------------------------|-----------------------------|-------------------------------|------------------|
| | 金 額 | 金 額 | 金 額 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 定期預金の預入による支出 | 810 | 815 | 1,330 |
| 定期預金の払出による収入 | 825 | 858 | 1,373 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 132 | 153 | 189 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 372 | 407 | 470 |
| 有形・無形固定資産の取得による支出 | 1,459 | 3,851 | 5,777 |
| 有形・無形固定資産の売却による収入 | 1,691 | 255 | 269 |
| 短期貸付金の増減額(増加:) | 106 | 93 | 0 |
| 長期貸付による支出 | 393 | 424 | 448 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 123 | 234 | 310 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | 9 | - | - |
| 連結子会社株式の追加取得による支出 | - | 89 | 89 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | - | 53 | 53 |
| 営業の譲受に伴う支出 | - | 488 | 488 |
| 営業の譲受に伴う収入 | 88 | - | - |
| その他の投資の取得による支出 | 197 | 1,020 | 1,102 |
| その他の投資の回収・売却による収入 | 163 | 977 | 1,057 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 367 | 3,962 | 5,890 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 短期借入金の増減額(減少:) | 922 | 3,713 | 1,613 |
| 長期借入れによる収入 | 14,374 | 9,890 | 11,505 |
| 長期借入金の返済による支出 | 13,808 | 11,621 | 14,460 |
| 自己株式の取得による支出 | - | 0 | 0 |
| 自己株式の処分による収入 | - | - | 0 |
| 配当金の支払額 | 293 | 244 | 244 |
| 少数株主への配当金支払額 | 10 | 11 | 11 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,185 | 1,725 | 1,595 |
| 現金及び現金同等物の増減額(減少:) | 3,149 | 2,406 | 693 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 11,676 | 12,305 | 12,305 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | - | 63 | 63 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | 2 | - | - |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 14,823 | 14,775 | 11,676 |

6. セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

当四半期（平成18年3月期第3四半期）

（単位：百万円）

| | タクシー 事業 | 不動産 事業 | 自動車 関連事業 | 金融 事業 | その他 事業 | 計 | 消去又は 全社 | 連結 |
|--------------------------|------------|-----------|-------------|----------|-----------|--------|------------|--------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 34,764 | 13,118 | 3,601 | 2,309 | 4,094 | 57,889 | - | 57,889 |
| (2)セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | 416 | 981 | 38 | 1,208 | 2,644 | 2,644 | - |
| 計 | 34,764 | 13,534 | 4,583 | 2,347 | 5,303 | 60,534 | 2,644 | 57,889 |
| 営業費用 | 31,872 | 11,831 | 4,529 | 1,760 | 5,173 | 55,167 | 2,668 | 52,498 |
| 営業利益又は営業損失() | 2,891 | 1,703 | 53 | 587 | 129 | 5,366 | 24 | 5,390 |

前年同四半期（平成17年3月期第3四半期）

（単位：百万円）

| | タクシー 事業 | 不動産 事業 | 自動車 関連事業 | 金融 事業 | その他 事業 | 計 | 消去又は 全社 | 連結 |
|--------------------------|------------|-----------|-------------|----------|-----------|--------|------------|--------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 33,967 | 11,690 | 3,125 | 1,537 | 3,317 | 53,639 | - | 53,639 |
| (2)セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | 243 | 833 | 41 | 387 | 1,506 | 1,506 | - |
| 計 | 33,967 | 11,934 | 3,958 | 1,579 | 3,704 | 55,145 | 1,506 | 53,639 |
| 営業費用 | 31,064 | 10,948 | 3,904 | 1,068 | 3,523 | 50,509 | 1,473 | 49,035 |
| 営業利益又は営業損失() | 2,903 | 986 | 54 | 510 | 181 | 4,636 | 32 | 4,603 |

前連結会計年度（平成17年3月期）

（単位：百万円）

| | タクシー 事業 | 不動産 事業 | 自動車 関連事業 | 金融 事業 | その他 事業 | 計 | 消去又は 全社 | 連結 |
|--------------------------|------------|-----------|-------------|----------|-----------|--------|------------|--------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 45,290 | 17,191 | 4,184 | 2,068 | 4,605 | 73,340 | - | 73,340 |
| (2)セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | 363 | 1,211 | 55 | 704 | 2,335 | 2,335 | - |
| 計 | 45,290 | 17,554 | 5,395 | 2,124 | 5,310 | 75,676 | 2,335 | 73,340 |
| 営業費用 | 41,712 | 16,674 | 5,322 | 1,485 | 5,261 | 70,456 | 2,320 | 68,136 |
| 営業利益又は営業損失() | 3,577 | 879 | 73 | 639 | 49 | 5,219 | 14 | 5,204 |

(注) 1. 事業区分の方法

グループ内の事業展開を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主な事業内容

- (1) タクシー事業 一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー）
- (2) 不動産事業 分譲住宅の企画及び販売、不動産の賃貸及び管理
- (3) 自動車関連事業 外車・中古車の販売及び自動車の点検・整備等
- (4) 金融事業 貸金業
- (5) その他事業 バス事業（路線・貸切） パーキング事業及び車両の運行管理請負業務等

(2) 所在地別セグメント情報

当四半期（平成 18 年 3 月期第 3 四半期）、前年同四半期（平成 17 年 3 月期第 3 四半期）及び前連結会計年度（平成 17 年 3 月期）

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める日本の割合がいずれも 90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(3) 海外売上高

当四半期（平成 18 年 3 月期第 3 四半期）、前年同四半期（平成 17 年 3 月期第 3 四半期）及び前連結会計年度（平成 17 年 3 月期）

海外売上高が、いずれも連結売上高の 10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

7. 営業の状況

(1) 販売実績

| 事業の種類別 セグメントの名称 | 当四半期 | 前年同四半期 | (参考)平成17年3月期 |
|--------------------|--------|--------|--------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| タクシー事業 | 34,764 | 33,967 | 45,290 |
| 不動産事業 | 13,118 | 11,690 | 17,191 |
| 自動車関連事業 | 3,601 | 3,125 | 4,184 |
| 金融事業 | 2,309 | 1,537 | 2,068 |
| その他事業 | 4,094 | 3,317 | 4,605 |
| 合計 | 57,889 | 53,639 | 73,340 |

(2) タクシー事業 営業実績

| 項目 | 当四半期 | 前年同四半期 | (参考)平成17年3月期 |
|------------------|----------------|----------------|----------------|
| 期末在籍車両数 | 6,182 台 | 6,074 台 | 6,109 台 |
| 稼働率 | 90.7 % | 91.3 % | 91.1 % |
| 走行キロ | 266,239,846 km | 263,337,614 km | 349,186,406 km |
| 運送収入 | 34,764 百万円 | 33,967 百万円 | 45,290 百万円 |
| 走行1km当たり 運送収入 | 130 円 58 銭 | 128 円 98 銭 | 129 円 70 銭 |

(3) 不動産事業 売上高の内訳

| 項目 | 当四半期 | | 前年同四半期 | | (参考)平成17年3月期 | | |
|------|-----------|-------------|-----------|-------------|--------------|-------------|--------|
| | 数量 (戸) | 金額 (百万円) | 数量 (戸) | 金額 (百万円) | 数量 (戸) | 金額 (百万円) | |
| 分譲事業 | (物件別) | | | | | | |
| | 中高層住宅 | 266 | 7,180 | 282 | 7,371 | 476 | 11,790 |
| | 戸建住宅 | 56 | 847 | 31 | 531 | 41 | 743 |
| | その他 | - | 2,774 | - | 1,603 | - | 1,718 |
| | 小計 | 322 | 10,801 | 313 | 9,506 | 517 | 14,252 |
| 賃貸事業 | | - | 2,118 | - | 2,076 | - | 2,767 |
| その他 | | - | 198 | - | 107 | - | 170 |
| 合計 | | - | 13,118 | - | 11,690 | - | 17,191 |

分譲住宅の契約実績

| 項目 | 期首契約残高 | | 期中契約高 | | 四半期末(期末)契約残高 | |
|--------------|-----------|-------------|-----------|-------------|--------------|-------------|
| | 数量 (戸) | 金額 (百万円) | 数量 (戸) | 金額 (百万円) | 数量 (戸) | 金額 (百万円) |
| 当四半期 | | | | | | |
| 中高層住宅 | 157 | 3,936 | 418 | 10,472 | 309 | 7,228 |
| 戸建住宅 | 16 | 329 | 54 | 835 | 15 | 317 |
| 共同事業 | - | - | 158 | 852 | 158 | 852 |
| 前年同四半期 | | | | | | |
| 中高層住宅 | 196 | 4,866 | 333 | 8,323 | 247 | 5,818 |
| 戸建住宅 | 13 | 288 | 31 | 547 | 13 | 303 |
| 共同事業 | - | - | - | - | - | - |
| (参考)平成17年3月期 | | | | | | |
| 中高層住宅 | 196 | 4,866 | 437 | 10,860 | 157 | 3,936 |
| 戸建住宅 | 13 | 288 | 44 | 784 | 16 | 329 |
| 共同事業 | - | - | - | - | - | - |

(注)不動産分譲事業において、当第3四半期から中高層住宅分譲の共同事業を開始しており、項目を新たに追加して表示しております。なお、金額は共同事業における全体の契約金額を当社持分比率で按分した金額であります。

(4)自動車関連事業
売上高の内訳

| 項目 | | 当四半期 | | 前年同四半期 | | (参考)平成17年3月期 | |
|------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 販売台数 (台) | 金額 (百万円) | 販売台数 (台) | 金額 (百万円) | 販売台数 (台) | 金額 (百万円) |
| 外車販売 | (車種別) | | | | | | |
| | BMW車 | 345 | 1,692 | 229 | 1,168 | 312 | 1,547 |
| | MINI車 | 258 | 685 | 251 | 621 | 347 | 861 |
| | その他外車 | - | - | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 小計 | 603 | 2,377 | 481 | 1,791 | 660 | 2,411 |
| | その他 | - | 1,223 | - | 1,334 | - | 1,773 |
| | 合計 | - | 3,601 | - | 3,125 | - | 4,184 |

(5) 金融事業

売上高の内訳

| 項目 | 当四半期 | | 前年同四半期 | | (参考)平成17年3月期 | |
|----------|-------------|-------------------|-------------|-------------------|--------------|-------------------|
| | 金額 (百万円) | (参考)融資残高 (百万円) | 金額 (百万円) | (参考)融資残高 (百万円) | 金額 (百万円) | (参考)融資残高 (百万円) |
| ビジネスローン | 900 | 4,862 | 922 | 5,092 | 1,241 | 5,025 |
| 不動産担保ローン | 563 | 8,504 | 454 | 7,158 | 608 | 7,560 |
| 消費者ローン | 600 | 6,846 | - | - | - | - |
| その他 | 245 | 8 | 160 | 9 | 218 | 8 |
| 合計 | 2,309 | 20,221 | 1,537 | 12,260 | 2,068 | 12,594 |

(注) 1、金融事業における償却債権取立益について、従来、営業外収益として計上していましたが、当連結会計年度から売上高に含めて計上する方法に変更いたしました。この変更により、従来の方法に比べて金融事業「その他」の売上高が18百万円増加しております。

2、金融事業において、日新信販(株)が連結子会社となったことにより、当第3四半期から消費者ローン事業を開始しており、新たに項目を追加して表示しております。